



● 梅花、女畫威

● 目錄

一 傷寒

二 感冒

三 痘

四 痢

五 泄瀉

六 咳嗽

七 水腫

八 積聚

九 脹滿

十 嘔吐肺癰

十一 黃疸

十二 腳氣

十一 淋瀝 十二 霍亂

十三 頭痛 頭凡 十四 舌瘡

十五 中風 十六 氣

十七 痰飲 十八 哮喘急

十九 心痛 二十 腰痛 廿一 腰痛

廿二 腹痛 廿三 腹痛

廿四 氣 廿五 氣

廿六 消渴 廿七 末有

室丹有

● 梅花をまきふ 上

一 佛

傷^{イタ}き^{イタ}表^{ウラ}裏^{ウラ}ハ 香^カ葛^カ湯^カ

紫^{ムラサキ} 薊^{アザミ} 中^{ナカ} 芥^{カイ} 小^コ 葛^カ 湯^カ

紫^{ムラサキ} 薊^{アザミ} 大^{オホ} 中^{ナカ} 小^コ 葛^カ 湯^カ

ノミヨミツク 今^{イマ} 夢^{ユメ} 月^{ツキ} 年^{ネン} ハ

ヒメノアモツク 冬^{フユ} 来^キ スリ

佛^{ブツ} 寒^{サムイ} ノ スリ ナリ

差^サ 湯^カ 差^サ 湯^カ 独^{ドコ} スリ

奴^ヌ 湯^カ 小^コ 薊^{アザミ} 小^コ 立^{タテ} 中^{ナカ}

アノノアモツク 冬^{フユ} 来^キ スリ

ヒメノアモツク 冬^{フユ} 来^キ スリ

ヒメノアモツク 冬^{フユ} 来^キ スリ

半粒半裏ト云ハ胆長
刀是類痛すつていふも
カハ子フルスオフサフア

てー

解肌湯

肉桂 芍薬

解中サケ

脈証ノ数胸脹痛等々

ミス候者寒熱ノ力ウエ

フヤス

小柴胡湯

柴中 空 芍

サケ

胆証ノ刀至要契諸言

ア物ニイロヨクモ

ハ六日又使通ス

大柴胡湯

虎太 実

相サ 柴 中 芍 大 使

通シテ候サカモノアリ

瀉証ノ傷モト云ハ腹沈痛

ノ刀至要契諸言

即モツニラム云イタク候ム

江村イハリスム

理中湯

人ラ ス 白 朮 大

夜 中 芍 中 芍 中

ト云ハイモウノ

ニ云ハクモ

若胃ノ府ト雖ノ府ト云
ニハムツ會傷モト云脈

強ノ長ニ 紫胡湯

本柴中 藜蘆 芍中 甘草

カワコレ中ヲ和ハカ

滋毒傷モト云ハ滋証之傷

寒ヲ何レモテ云ハ云ハ

云云云云是ノ人 姜活湯

ヲ用テテモ云ハシ

滋毒之傷モト云ハ紫胡湯

トミトナニシテ熱ハナ

又月ニハナナリ 云々云

ナナナナナナナナナ

又黃連水只傳

者ニ云云ノ口口口傷寒ヲ

治セハ 姜活湯ヲ用テ

行テ云云(シ)熱熱ハナ

姜活湯ニ熱熱ヲタテ

ト思ヘクザン一ナイカク

ノコラ月人ニ云ハコナナ

モコシ

傷寒ニ云ハ様ノ病ヲ

月ハ熱ニヨリテ云ハ云々

云々云云(シ)本病ヲ治

一系ニ云ハ 胃腸門云々

申ス黄シヨリ
面赤湯 宜ス萬中
中中湯 大石を煮

可 初年傷寒 乾ニヨリハ

羌活湯力 香薷湯ニテ

けうあき (シ羊表羊

表ニヨリハ 柴胡湯ニテ

サス入 (シ表ニヨリハ

四五日通ズルハ 大柴胡湯

小柴胡湯ニヨリハ 大

使ニヨリハ 大

傷寒ノ俗説ニヨリハ 大

ワカバヤノ説ニヨリハ 大

保ヲカキテニヨリハ 大

黄芩水ト云テ 柴胡の方

古傷寒ニヨリハ 大

人ニヨリハ 大

二黄湯凡 三黄ニヨリハ

表熱ニヨリハ 大

クニヨリハ 大

方ハ 引銀ニテ

二 感冒凡

凡ハ 感冒凡

感冒凡

感冒凡

感冒凡

感冒凡

感冒凡

しんじ

一 参り湯

もろ下 中 かりコレス

ニシス大ニシ 中 日ウツテ

其ク右をスレ月 けあ

色ニ三日大 便通をいそ

一 清心湯

本 小 方 中

紫ス

もろ小 大 面 中

其ク

蔵 胃 ト 云 入 准

ノ 凡

なりく 生 気 血

あゝ云 ずいあう なる

傷

きく みる

一 白散

奈ニ 臨 下 高 方

傷

なりく みる

一 傷寒

脈 浮 数 ノ 行

二 子

あう 八 奇 果 の 葉

三 子

あう 八 奇 果 の 葉

四 子

あう 八 奇 果 の 葉

五 子

あう 八 奇 果 の 葉

六 子

あう 八 奇 果 の 葉

七 子

あう 八 奇 果 の 葉

八 子

あう 八 奇 果 の 葉

九 子

あう 八 奇 果 の 葉

一〇 子

あう 八 奇 果 の 葉

一一 子

あう 八 奇 果 の 葉

一二 子

あう 八 奇 果 の 葉

一三 子

あう 八 奇 果 の 葉

一四 子

あう 八 奇 果 の 葉

一脈より入る可なり
香蘇散より日に来る
頭痛ハ 寸ハ
蒼白ナリ 胆気之方ハ
今中室ハ 柴 足ハ
身ヲ 無 病ニモナリ
リ方ハ 車草ハ 烏
後ハ 室ハ 虎 水腫ハ
鏡 木通ハ 人胆ハ
鮮 竹ハ 胆ハ 脾胃ハ
マフクナハ 下 毒ハ 骨
食ニテ 後中ナリナス

ラハ 肉豆 中 人ナリ 夜ハ
訶子 瓜ナリ 胸
スクハ 薤ハ 細ナ
白ナリ 肉豆 訶子
胸ハ 薤ハ 室ハ 香
中ナリ 虎中 薤ハ
石ナリ 虎ハ 石ナリ 月
頭痛ハ 寸 白生
是ナリ 香蘇散ハ 胆ハ
不食ナリ 本草ハ 薤ハ
人胆ハ 中ハ 中ハ
一脈より入る可なり 香蘇散

一服之旨ニ本末ノ内ニ宿病
ヲ如紙ノワタ（ハ）ニ似ル
勢ニシテ人々大ニ驚ク連
初ニ是ヲ如クテ解ク月
一衝夜又復シテ恙ナク有
一若ハ風来ニク睡ニシテ
ハ有病ニ交ルニ及ビ
初ニ腹胃ヲハ噴カシヤ
凡クハ心ノ恙ナク是宿病
ニシテアタリノテ汗ヲ出ス
ハ是ハ大ニ及リテハ言ハ
佛堂ノミ

三 蛇病

一蛇ノ毒ヲ振ニシ凡ト寒
ヲ起ス又食アリシテ霍
乱ヨリ起ル物ノタリニ
テモヤムルヲ（ハ）ニ積
ニシテヤムサテテニ有
女ニシテハハクチカスル間
葉ヲ（ハ）メア用（ハ）二日ニテハ
タナヤスニ二日（ハ）テハハ
カスル程ハ是ヲ名ヲ（ハ）
凡クハ心ノ恙ナク是宿病
ニシテアタリノテ汗ヲ出ス
ハ是ハ大ニ及リテハ言ハ
佛堂ノミ

一七 鈴飲 ワキカスニ 月 ニヨリ

紫山 紫山 童 貴 兵

草葉 草葉 石 石

一 金圓 二 月 三 辰 辰

童 童 紫山 紫山 何 何

人 人 天 天 沢 沢 河 河 親 親

謝 謝 紫山 紫山 石 石

月 月 又 又 清 清 脾 脾 神 神 七 七 月

一 掃 掃 曉 曉 散 散 二 二 月 月 三 三 月

土 土 割 割 省 省 校 校 日 日 又 又 子 子 空 空 一 一

少 少 天 天 日 日 の の 石 石 硯 硯 高 高 山 山

茶 茶 取 取 計 計 起 起 紫 紫 山 山

手 手 一 一 束 束 四 四 三 三 枕 枕 水 水 二 二 束 束

天 天 日 日 一 一 月 月 紫 紫 山 山 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

子 子 天 天 又 又 三 三 月 月 一 一 月

今 其木石也 日

遮障九 柏 荻 芥 六

木 朴 人 竹 首 首

柴 石 凡 用 日

一 刺 之 花 木 能 入 水 中 名 之

ソノ 根 之 文 八 五 重 三 元 け

似 然 ト 云 々 水 中 ノ

先 之 ミ 用 日 口 傳 也

空 凡 虎 貴 其

木 葛 龍 紫 柏

人 之 桂 心 右 是 用

タス 入 水 中 有 竹 葉 可 使

一 其 後 竹 葉 荷 荷

栢 荻 其 地 命

我 桂 其 右 是 用

一 腹 下 ル 竹 葉 ト 云 日

爲 雲 其 杏 仁 訶 子

我 其 桂 我 其 葛

右 是 用 其 文 其 其

右 是 用 其 文 其 其

一 刺 之 花 木 能 入 水 中 名 之

凡 其 口 之 竹 葉 可 使

八 竹 葉 之 竹 葉 可 使

八 竹 葉 之 竹 葉 可 使

神仙丹丸

一凡東海名曰^初東

杏仁^{二粒}已^三重^{二粒}右^三根^三

ノコリ^一中^一巴^二豆^三入^一ノ^二右

ノ^一凡^二東^三ノ^一若^一ノ^二若^三若^四若^五

ノ^一凡^二東^三ノ^一五^二粒^三斗^四ノ^一用

和^一又^二妙^三ノ^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

乃^一乃^二乃^三乃^四乃^五乃^六乃^七乃^八

ホウレンソウヲ和テ用ヨ
謝金散 桂心ハカンニテ
カニテアサニテトモ
ワリヤカフシハク
新子 肉桂 右粉ナク
茶二服ナクハ用新子
ヨ子イクニその
ヨ用是ニテニシテハ
スルトカヘシ

又

純浮サハラノ

一服胃ヲシテ子トヘ
服中ククシテ夜
ニニニナクサ
ニニ心ワク
用ク俄
ツロクト
ハ
一
新子
和
貴
黄
ワ
水

家秘事も因到菴散
云々しけミハアケウケケウ
ト云々しミハアケウケケウ

一病何れも名を病もヤミハコ
シク用若是ミテケルナリ

エロククハルルト知(シ)

贈金致桂心ハナニ美ケ
我本ヤウ 天南星

桐ヤ葛衣各小 訶子

肉豆 右粉ミ入茶一版

ゲツ用ナリト云(シ)

酒深トハナクト下腹ナリ

大勢也主故ハ先酒深

ミテ 後未の病ニ云云

三黄ハヨシニ云云ナリ

寒ミミミミニ云云ナリ

クワレトトトハ云云ナリ

一腰骨ノ痛ト云 暖衣ナリ

ハ股テクク痛ミナリ

ミハミナリ 上方ノ痛

云々ハミナリ 下方ノ痛

云々ハミナリ 下方ノ痛

フナヘシ散散スシ
紫ノ大龍大貴小針大

是リ月

一龍ノ龍ノシナススハ危子

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

一龍ノ龍ノシナススハ危子

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

一龍ノ龍ノシナススハ危子

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

一龍ノ龍ノシナススハ危子

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

一龍ノ龍ノシナススハ危子

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

大龍大龍ハリハリハリ

七

水腫

一政白口云水腫は皮を以て有

るを以て宜しき月々のノミを

起す水腫ノ如くニテカウテ

下血ヘトリ急ク居ヤ

秘多ては皮目（あり）ス

クハハルニテリ腫痛ヲ

補ヘシ小使ヲリ人ヘシ腫

クハアセニテニヨ人ヘシ者ハ

クハム脈は夫ハハシ沈細

ハカスニテリ

五皮湯 石ノ水腫ニヨリ

五皮湯 石ノ水腫ニヨリ

各半 貴藥白 各半

生薑反 右共ニ用ニク

之ノ和使下リテ腫リ

一高澤散 大便下スニヨリ

其下リ 又腫ハ高澤

以浮 新ナリヤリ 羌活

山椒白 茯苓 石黄連 野天

四物湯 子ヨリ三黄凡部

一通引湯 婦人月経赤白

赤木通 中ナリ下

若貴 以浮 前值

木通 車前子 前值

高澤 茯苓 前值

高澤 茯苓 前值

生薑 通 山蘇白

新三ノ入
一 天白散 滑石 白朮

木小豆 八 白朮 毒

神仙

一 如神消 氣 固 腎 功 用 甚 大

一 附子 入 白朮 天 浮

山 紫 史 山 危 子 車 前

桂 七 草 各 中

石 凡 入 飯 湯 中 用

一 如 藥 水 腫 甚 者 用

是 乃 見

志 興 貴 藥 三 振

一 姜 黃 連 巴 豆 在

右 子 粒 々 奈 生 姜 止

黃 止 湯 中 用

一 胃 補 三 平 胃 散

補 脾 湯 中 用 是 乃 見

ハ 止 乃 見 西 乃 止 乃

一 水 腫 八 胃 功 用 甚 大

乃 乃 入 下 止 藥 功 用 甚 大

二 乃 乃 入 下 止 藥 功 用 甚 大

混 汁 入 下 止 藥 功 用 甚 大

水 二 乃 入 下 止 藥 功 用 甚 大

補 養 リ メ ハ 一 ツ ル 子

水腫ハ実証ニシテ五穀不

食 寒 飲 ミ シル ニヨリテ

水 蓄 ワ ニ 便 ミ 通 セ シ ヲ

ハ 皮 肉 一 ツ ニ 水 ヲ 貯 ル

主ニ四肢石耶ハハハハ

海 多 田 ニ 蓄 ル テモ 角 テ

大 便 ヲ セ シ ハ 小 便 ヲ

力ニ利セズ 菜ハ大寒ノ菜

産後産前ノ腫氣ハ厚汚

一 年ノミナリトシテ今

諸病又云ハハハハハハ

腎大寒飲ノ三黄凡ヨシ

一 凡 腫 ト シ 依 水 腫 カ ヲ

公ニ事ニ是ハハハハハハ

故ニリ 厚汚ハ 羌活湯

ヲ用リテアセフハスヘシ

一 小 使 ヲ 通 ス 肺 ニ ヲ

明 泰 ス 胡 蘆 ハ 石 膏 ス

一 小 使 ヲ 通 ス 小 便 ヲ

一 凡 腫 ニ ヲ ス 子 ノ ミ

一 五 ツ ノ ツ ノ ツ ノ ツ

一 五 ツ ノ ツ ノ ツ ノ ツ

一 五 ツ ノ ツ ノ ツ ノ ツ

腋ノ下ノ用

一諸病平愈シテ後患無シ

腫入ルニ針ニテツク

白アリを茶ノ葉ヲ炙

テ患處ヲ洗ヘシ奴ノ腫

ケレド也

一人ハ腹身手足ノ腫ハ

ニツトモヘコノハシケヒカス

トモツクハ計ニテツク

金ハカリツクトルヘシ

一五積六聚五藏六府ニカク

痛ク云ハカクニ事ス

ノ思フム子ニ事ス

ツカシツクヤ物ヲ食シテ

ノチニツケシカ子ヲ作ス

積ト成トスニハ皆相似

生イヌ故

一腹ニカクニ事スハ心積

云ハ連聲

一石ノ脇ニツクハ肝ノ積也

柴ノ量ス

石ノ脇ニツクハ肺ノ積也

池水清ハ其

一聯ノアリニテ不食スルハ

解積 必ロ中ヨリ 酸生

白木 貴 我ニヤト月

一聯ノアリニ有ラムクトリ

エ(アロリニイタム)胃積

我木三積 兵音梗

用主アリ 右ノ信ムル

ニ有(海セト思)白月ノ

ワヨ人ニ入十月十日ニ

有斗ツモ 條急回腸積

目オトクノニセテトレハ

美ヲ用或積ニ来食進

食物ヲ用(ハ)ウス

正^正 内ヲツク飲テ物ヲハ

クワメノ中ノ擲サケルヲ

酒積ト云 羊交 齋ニ

丁子童 我木カ白木

毛 ナトケ用口

酒積ニ月 丁子 黄連

木香 宿妙 苦辛

枕仁ニホ 我 兵 虎

右美ノ用 我 虎

一香 藤散 茶積ト云 茶

我 茶

吾中栢尺川より少右葉之
又ハ九故、メヨシテ、サス
月ハ之何虫積ミ、トク有
一散積、二切、三用、貴、不、本
ス、不、ス、ス、ス、サ、人、小
宿、砂、丁、奈、ケ、肉、豆、
栢、衣、益、智、仁、苦、事、
右、葉、シ、ア、ミ、ス、月、ハ、
二、百、病、ミ、出、ノ、如、減、ト、云、ハ、是、
其、我、若、事、栢、童
貴、善、操、三、枝、代、雀
吾、木、冬、白、木、朴
此、能、成、右、は、事、ハ、ミ、
二、切、ノ、出、ラ、海、ス、ル、葉、ミ、ノ、万
病、ミ、出、ノ、如、減、ト、云、ハ、是、ハ、
如、成、ノ、月、ノ、ミ、出、ス、ル、ミ、
是、ク、ル、ノ、月、ノ、ミ、

一、解、積、
丁、ハ、木、冬、
童、郎、
巴、豆、
石、凡、
積、ハ、
病、
氣、
氣、
三、
三、
三、

一 龍蔵書ニ云クハ僧云曰
 三月十三日人音於龍蔵寺者
 一 秘傳家フシトテノ 秘傳家
 二 口傳スヘシ
 一 氏出積ヲ海ノ砂ニミミハ
 秘傳家ノ秘傳ヲモテ
 十三七八積ハ秘傳ヨリ起ス
 一 積ニ秘傳寛中ノ妙ニ

九 腰満

一 腰満ハ腰中ヨリサ人於後
 イラ身トシテ時分凡
 ヲ日ニシテモ或ハ氣ヲ動
 テモシテ食ニ至リトヘ
 ヲモテモ 秘傳家使ト
 クス又婦人等通テモ 出
 積ヲモテ腰満成リ
 自ラテ食ヲ消シテ中
 ニタノミテ成ヘシ
 一 是是月ヨリ行ハス小便トシテ
 在モテモ伏シテ 白濁ハ
 人ヲスルハ 秘傳家
 石薬モ

用凡之月口又高連

起り加う月口

不食アヲ八脾胃門ニテヒイ

フーノ口 率余ニハスハ

ハシトリテハハシモコト

又一箇くもく物あり

小便アラハ伏丁連赤

ハ知母 貴耳ナトヲ

月口施リ加ヘ

二劑ヲモクト先替リナサシ

食クハ進ハ肝ハ引テ

一劑中起伏半突有

起門 興心貴耳虎

空石煎し用

一浦腹凡 突志 突虎

貴耳 宿小 白水 崔大

我ホ少 石凡ノ用

又方 牽牛子大 黃芩大

共煎中 煎赤クハ 木香

煎 子薑 小凡ノ用

ミムフ 黄人 湯ハノ用

一子薑 白不 賣貴人ノ

丁煎大 煎赤 諸子ノ

香桂小 甘草 薑赤

羊動志 果右 煎用

一補味セハ 咳嗽ハノ用

御人

モトノ日 丁子 漬子ナ

用ヨク 脾胃ヲククリノ

（一）枯葉 煮リテ之ヲ

炙ニ食シタルヲ 朝名モカ

ワケルシテ 吐運スルシ

必ス使ヨク 傷人ヲ防テリ

一使 肺ヲ 共 寒 茶 本

貴シキ 聖薬スルナリ

右薬用アタムルモ 寒ニシテ

寒シモナシハ 滋胃ノ府ニ

元ナリモ じんイニシヨ

（二）定食 夜食 生 冷ノ

難シク 火ニヤケルニ 傷ヲ

コキモノ 口ニシ又 寒ニテ 腹ヲ

ハクシメ クイメ クイ 食後ニシ

口ニアリ クコトヨナナリ

伏力 本ノ 宿ス 事ナリ

人々 分ナリ 病ニシ

此 五味子ナリ 大 量

養分 神速ニ 奏 効ス

杜仲ノ 名 解ナリ 大 腹 痛

貴ス 事ナリ

五ノ 方ナリ ハ 治 婦 ナリ ク

用ニシ

此 肺 室 及 胃ノ 病 寒 氣

出ト 病ト 寒 氣 ナリ

三黄散の中をノミテ
最上角ヨムニテナハハ
リヌク最上ノ天幸ヲ用
日積ナリハ玉臺丹ヲ中
寒ノ最ニ用

一、一、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 二、二、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 三、三、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 四、四、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 五、五、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 六、六、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 七、七、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 八、八、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 九、九、 胃ト云ハ食レシモ不クある
 十、十、 胃ト云ハ食レシモ不クある

十一
卷

[illegible]

脾、赤い血の多い病。成す
事多し。人々、蛇水穀に
胃、火を食ふ。暑湿の脾
より大變けん。さうして
工用、月と考へる。さう
したる言ひは、考へる。さう

洞（眼目）
白木
石

白木
石

鹿走（内）

一、鹿走（内）

石

鹿走（内）

石

一、鹿走（内）

石

一、鹿走（内）

石

右三時

石

一、鹿走（内）

石

一、鹿走（内）

石

一、鹿走（内）

石

一、鹿走（内）

石

一、鹿走（内）

石

九萬一萬三

三

一石之方より起る杜若

梅萼 有卷反 紅

石青年ヲ用ひ

黃疸八方論

三便字

卷之五 所美不實

白木灰太

三才圖會

10

平家の人を食

脚气

脚氣六九入下痛

上院風雨寒之方已

卷之四

若小ひくうふ人

卷之八

棋燕故元上風

卷之五

一仙上

命
黃
京
古
林

卷之六

五言古詩

卷之四

生アタス目小使シテラ
能ク下ス者一切ノ病ノ
小使シテハ是ヲ用ヘシ
飽子 煮リ加ヘテ口ニ服
シテ病ハ桂心ヲカク入
一脈出シノ心氣ノ有テハ汗氣
ゆキ可ハ心氣門ニ有リ
一ツツニ食テ人脾胃門ニ
食テスノ日平胃散補脾湯
一アタスニハ一ツツニカシテカシテカ
小使をもテスノ日平胃散補脾湯
クモウハ飽子 煮リ加ヘテ口ニ服
シテ病ハ桂心ヲカク入

胃ヲ補ヘシ

一アタスニハ一ツツニカシテカシテカ
ノモク病ヲ茶ニ服シテ
至聖車若丸ニテ用又後
ノ病ヲ治スノ用

一胸ホクハ 煮リ加ヘテ口ニ服
シテ病ハ桂心ヲカク入
一アタスニハ一ツツニカシテカシテカ

一胃虚ノ星ニハ一ツツニカシテカシテカ
煮リ加ヘテ口ニ服
一アタスニハ一ツツニカシテカシテカ
ノモク病ヲ茶ニ服シテ
至聖車若丸ニテ用又後
ノ病ヲ治スノ用

一五方ニ腎ノ氣ヲ入ルルハ
清腎湯曰九散曰新
心腎湯補心連子飲十二
方ニ酒ニ主ニ三ノ婦中ノ
腹ニ水茶ヲトラクムル
クモイラズルヲ重ニイラ
タム事ヲトクナリ

志霍乱

一霍乱ハ暑ニ主ク初ハ大氣ノ
氣後ニハ小氣ノ氣ヲ入ル
一ノ氣ヲ入ルハ

手足ニ散ルタルハヤキニテ
勝ツアタノアヲヤクシ
ニセテ吐逆ヲナスハ吐逆ノ
クハシラナリ
一霍乱ノ氣入ルルハヤキニテ
其ノ方ヲ秘ルル者ナリ月ノ
道ニ暑ノ氣ハ霍乱ノ氣ヲ
引ト云ハ腹痛ヲ云フナリ
タハナシ食ヲメ胃ノ氣ヲ
引ハ吐逆ニ主ナリハ
ニ散ルタルハヤキニテ
吐逆ノ氣ヲ入ルルハ
吐逆ノ氣ヲ入ルルハ
吐逆ノ氣ヲ入ルルハ

或ハ面のとろろク黄ハミテ

脈ハナシハ心ハヘシ

吐逆シケク分ハナシハ勝

下ヲ出ベシモクテ又ハ桃

ノ葉ヨミテクモ黄シテアヒテ

腹ヲアウラリハ必スイクミ

腹カタカヘシ

二腹中ハナシハ黄ハミテ白ハミテ

黄ハミテ黄ハミテ黄ハミテ

為ラナシハ地ハミテハ未ハ

味ハ紅ハミテ黄ハミテハ

腹ヲアウラリハ必スイクミ

腹ハミテ黄ハミテ黄ハミテ

胃ハミテ黄ハミテ黄ハミテ

霍乱ハ振ハミテ黄ハミテ

タタ下シテ腹ハミテ黄ハミテ

ニ知ハミテ黄ハミテ黄ハミテ

カシミテ黄ハミテ黄ハミテ

スナナナシハミテ黄ハミテ

ワシミテ黄ハミテ黄ハミテ

タテニミテ黄ハミテ黄ハミテ

相ニミテ黄ハミテ黄ハミテ

逆ナシハミテ黄ハミテ黄ハミテ

ノミテ黄ハミテ黄ハミテ

死ハミテ黄ハミテ黄ハミテ

タハミテ黄ハミテ黄ハミテ

冬セヨハ海ノ水ト云ニ其

後脈モナリ心ヨリハ

一養胃ノ用ヨ花ス人クハ

木ナチス志ハ空ハ

桂中ナ右養用

一香積散ノ内ノ人クハ宿

疾ハ桂ケ入黄ニ細ク用

一浮ス人ハハマスハ平胃散

日ニ脾胃門ニ有

一利黄散ヨニ香薷散ハ朴ス

白芍豆ハ黄連ハ黄ス

人我ハ木ハ花中木香中

一養胃ノ用ヨ花ス人クハ

一浮ス人ハハマスハ平胃散

上 頭痛頭風

頭痛ハ風寒頭凡ハ風冷

凡寒ハ羌活湯ニテ

ツトルハ頭痛ノ風冷ニ

ハ中製ノ薬ヲアスルハ

大製ニ依テ頭痛必寒

嬰作ナ自似ニ製ハ

中寒ノ薬ハ石赤ヲ

夕用

金ノ道ノ頭痛ハ、
クセニ滑石散ヲ用
度痛ノ頭痛ハ山嶺東家
又ハカキテ用合々集名
一五六ノ頭痛ノ頭痛ハ
真武方クモリ頭痛ハ
六六六ヨコウ大ノ頭痛
頭痛頭痛ハ、
ノ頭痛ハ、
ミタマも頭痛ハ、
ニヤフシ天日ニカ
俄ニ頭痛ハ、

ハナクハツイナカク 頭痛ハ
大湯ト云ハ 茅ノハ 白芷中
蒼大面ヤ 右煎ノ用
一脈ウケテハチナリ 固クナリ

子より大更の方へ

方一了點點八小湯下
料中葛粉白芷人蒼人
羊小生薑人

在英之國

紅茶

一、補金匱湯

一香菰散風 新嘉生真

平アトクハ細々ノミテヨ

一葛石膏す 煎正細事

黄空大右丸ニ散湯

ノミ用

一頭痛ニ云々又唐瘧ヲカキ

名人白粥菜ヲのみくま

そこのつとめて菜ヲ額へ

アカリイタミ菊膏(カウ

ーリ脚スノ極ニヤミアリ

サシタは唐瘧ノ菜ヲ合テ

此飲オシ水ウミ湯ニテ

日々オシ(一)ノ瘧

一額ニ云々又ノ瘧ニ云々ハ凡ハ

サ大者胃瘧ノ人ノタミ

上腹ヲ冷シ又及ニヤミ

テノタミニヤミナリ瘧ヲ

ロケムヲ瘧ヲニヤミ

テラニヤミタタノミタテ

瘧飲クミ(一)

十六 瘧疾

瘧疾ノ月水瘧ニヤミ

瘧ニテヤスルニ瘧ニ

瘧ニテヤスルニ瘧ニ

故に製人しす

桂

西物湯ニテコウニテ桂

桐ヲ製ス黄ニ滑石散

用ヘシニテ桐ニテ

製ス人ヘシ

一製ノ薬ト云ヘシ寒ニ人出

ツロニス業ヲ用ヘシクニン

クイカニ金砂子ニツリ

製木ニテ確ニ碓

各ヲ製ス皂灰各ス九ノ方

其ニテ用ヘシ大戦ヲ如シ

一骨條ノ製ス似骨痛ニハ

真出アク白下ナリ又ニ陰モ

クニスニヨリヤナク製スル

モノナリ

骨條ト云ハ元ト云製スルヤ

物ト云知クワシク門ニ

此ニツケリ製ス是クマ

十七中風

中風

一云ハ喉金候カヤタリ

二云ハ製ス人ヘシ

三云ハ四下ナリ是ニ云ハ

時分ヨリ中風スルナリ

一 滑石散ニテ血ヲ止メテ熱ヲ
サレハレ

一 若 膠 漆 ヲウハ美 活 湯 ニテ
シテ飲スヘシアタノテ風

濕ヲサレハレ

一 活 湯 風 ハ百病ノ長タイニ去
ヲノ病ハ皆風ヨリサカル

一 肺 肝 (風ヲリ)ガ立ニ成ハ
口ガミ手足スグミナエテ又

眩ワリニ成シテ人ヲミナス
云ヨリ物ニシト口ガミ似

カキ久延出テワウフイ
不食ニ胸ニムサウア腫

イタミ脈ハ上邪ヲキヤスシテ
夕夕ニシヨリサカルニ去ハレ

ヲナク胸ノ變ヲ止メテ肺
ヲクワシテ逆アトニ去クハ

アタノ病ヲハノ風ヲハク
メ金ヲハスニシスハ中風ノ

ヤミイサランナリ

一 五 刺 大 風 散 男 女 二 面 風
散ノ内ニキキミリ手足

ナテ癱カチアノ物ヲミ
ツメニロキナリ

一 美 湯 也 ス 本 方 中 有 香 仁
ヤ如 野 山 漢 ば 中 白 芷 等

白 芷 等

中右葉之用

不續命湯 半似タカハス

口苦し月より古コハリ

物イロム心いざしツスス

脈うやアハヤシ 圭ハ

平小演説ス本中書少

杏仁中人リハ中右葉ナ

アリハレシテク用

天鰐金湯 脈はチハヤク

物イロム心おしテスツス

ミナツタスコトナニホハ

石膏中桂心ナ草ナ

杏仁ハ古ミヌシ用

中用下ハニハ三月 霜ナ葛

タチア 赤少貴ヤ草ナ

穴氣散ト云

中用中ハ三月 桃風湯而

ニ白シ 蒼ハ葛ス中

一ハ久ナニ 續命湯

蒼演已 中杏仁ナ

無痛ニハ木代ヲ加ハ

中用ハカチナ金ナ通ヲ補ハ

ニ整イタルハニ葉ハ全通門

アリ

中用

中用ハカチナ金ナ通ヲ補ハ

凡^レは^レ有^レ頭^ヲを^レ凡^ノ凡^ノ但^ニ頭^ノ一^ノ病^ノ病^ノ

100

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

藏書校中一切自今

す、有、
つ、古、
つ、東、
つ、京、
つ、西、

有到竹石堂用

二五 傷骨やうな顔イタミ

久、執又人、之、者、一、層、控、

古今事物考

人曰抑也

イタスアスヘー

衡、白、粉、子、用、

十八

氣血虧損

二
五
六
七
八
九
十

丁巳年

生人

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

...

卷之五

一、月、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

10

病ニテアスナリ 女ハサノヲ
ヲセズニカケハスコトヲ
ニ服ヲサノヲ思フテモ
イタクカクナリテワスルヲ
人ニ語ルニテモハハル病女
人ニテ男ハサナリホ人
リ男ニモハサナリホトケヌ
人モアリ女ニモ男ノヤリナル
人モアリ又ハサノヲワリク
トリヲキノ能人モナリハ
心ハサノヲワリクモアリハ
腹中ヨリ持テ出タルト云ナ
リヲサノヲ付物ナルヲ云
者何デモナリ男ニモハサノ
シラハサノヲ病リハタイナ
ナシハサノヲナリハサノ
エサノヲハサノヲナリハ
ロリニ思フナリ

二ツツツツツツツツツツ
病ニテアスナリ 女ハサノヲ
ヲセズニカケハスコトヲ
ニ服ヲサノヲ思フテモ
イタクカクナリテワスルヲ
人ニ語ルニテモハハル病女
人ニテ男ハサナリホ人
リ男ニモハサナリホトケヌ
人モアリ女ニモ男ノヤリナル
人モアリ又ハサノヲワリク
トリヲキノ能人モナリハ
心ハサノヲワリクモアリハ
腹中ヨリ持テ出タルト云ナ
リヲサノヲ付物ナルヲ云
者何デモナリ男ニモハサノ
シラハサノヲ病リハタイナ
ナシハサノヲナリハサノ
エサノヲハサノヲナリハ
ロリニ思フナリ

目

玉匣に入らば横たへりし人

葉ハ横たへりし人

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

葉ハ横たへりし人

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

一汗大ハ血中主ハ血中

十九 痰飲

一 痰飲 治之 依り 水 料
クント 治之 依り 痰 料

二 痰飲

一 痰 治之 依り 水 料
一 痰 治之 依り 痰 料

三 痰飲

四 痰飲

五 痰飲 治之 依り 水 料

六 痰飲 治之 依り 痰 料

七 痰飲 治之 依り 水 料

